

2018/19シーズン活動報告書



一般社団法人 障害者スキー振興協会

2018/19シーズンの活動を下記に報告します。

《梅池スキー学校》

全ての滑走スタイルへの指導技術はもちろん、受付や担当外指導員からも優しい声かけや、ふとした心配りなどあたたかい受け入れ態勢で受講生を迎えてくださっております。また、周辺施設（宿泊施設やレンタルスキーショップなど）も、心強く柔軟にご対応いただき、受講生やご家族の負担軽減に努めていただき、レッスンに集中して臨めるようにご協力いただきました。

《Hakuba47 Ski Academy》

AADS設立前から、活動内容にご理解、ご協力いただいているスキースクールです。訪れた事がある方はご理解頂きやすいのですが、中急斜面が多く、ベースエリアからはゴンドラ（階段あり）での移動など、斜面設定、ハード面で厳しい点があります。そのため、座位や、立位でも平地移動に体力を使う方には滑る事以外に体力を費やしてしまうため、当協会の受講生ではある程度の滑走技術や体力も必要になります。今季もスキー歴の長い受講生が訪れました。北斜面も多く素晴らしい雪質のなか受講いただきました。

《AADS派遣レッスン》

今季は中学校のスキー旅行への出張レッスンがありませんでした。一名のみ、白馬エリアでイレギュラーな時間帯でのレッスン希望があり、対応する事ができました。

《障害者スキー講義・体験会》

例年同様に、西町インターナショナルスクールにて7年生を対象に障害者スキーについての講義を行いました。様々な障害や、障害者スキーの可能性について講義を進め、視覚障害や下肢切断、下肢の麻痺、知的障害のスキーを紹介し、アイマスクを用いて視覚障害の疑似体験を行うことで、一時的にも障害を持つ事を体験してもらいました。パラリンピックなどの滑走シーンを動画で紹介し、多くの生徒に驚きと障害者スキーの可能性を感じてもらえたかと思えます。

2月のSki Tripにおいての障害者スキー体験会を行う予定でした。とても楽しみにしていた生徒が多かったのですが、あいにくの悪天候により実施する事ができませんでした。

《受け入れレッスン総数》

- ・レッスン数：17
- ・スクール：柵池スキー学校_15 Hakuba47 Ski Academy_1 AADS_1
- ・障害：視覚障害_4 知的障害_8 脳性麻痺_3 脳血管疾患_2
- ・地域：東北_1 関東_11 中部_2 関西_3

《 2018/19シーズンを終えて・・・》

2018/19シーズンの活動を報告します。レッスン数は17日間でした。当協会の受講生はリピーターの方が多いのですが、様々なご事情があり、複数の方が受講する事ができなくなり、結果として昨シーズンの46日間から大きく減少する事になりました。しかし新たな受講生も訪れ、今シーズン中にリピートする方も見えました。昨シーズン、残念ながらレッスン途中で上方から流れてきたスノーボードが衝突し頭部を怪我をされた方が、今シーズンは再度スキーに挑戦されました。今回はアクシデントもなく、楽しくレッスンを終える事ができました。

提携スキー学校である、柵池スキー学校、Hakuba47 Ski Academyは、本当に前向きに受け入れて頂きました。受け入れから年数も経過し、障害の種類や程度も幅広くなり、それぞれの障害に対するサポートや指導スキルも向上しました。今後も継続して受け入れていただきたく思います。

これまでのシーズンから受講生の増減は、雪の便りが聞こえてくる時期や、災害などに大きく影響しています。今年は台風による大きな災害が各地で起こりました。ご存知の通り長野県でも大きな災害に見舞われ、日常生活も不便をきたす中で次の冬を迎える事になります。もちろん自粛だけでは復興はありませんが、少しでも早く、被災者の生活が再建され、平穏な生活や余暇活動が送れる事を願っています。そんな中、スキーフリークが一人でも増える事を期待しています。2018/19シーズンも、皆様からの心強いご支援ありがとうございました。